

「東中まごころプラン」生徒の健全育成に向けた教育相談活動の工夫

提案者 加須市立加須東中学校 ^{ひらい}平井 ^{かおる}薫 教諭

実践に至った背景

- ◆ 学校から保護者への連絡のほとんどは生徒の問題行動についてであり、保護者との良好な人間関係を築くことにマイナスになっていた。
- ◆ 保護者にとって、子供が問題行動を起こし、指導されるときに、教員が子供の良い面を分かってくれていると感じているか否かは、その後の指導や保護者との協力関係に大きく影響する。教員から積極的に生徒の良い面に目を向け保護者に伝えることで、保護者との信頼関係を構築したいと考えた。
- ◆ 日本の学生は自尊感情が低いと言われているが、本校の生徒も例外ではない。自分の良さはなかなか自分では分からない。周囲から自分では気付かなかった良さに気付いてもらい、認めてもらうことで、生徒が自己理解を深めるとともに、自尊感情を高める一助にしたいと考えた。
- ◆ 口頭よりも文字の方が気持ちを表現しやすいという思春期の生徒の傾向に基づく取組を考えた。

実践の内容

● 「まごころコール」(生徒の良い面を保護者に電話で伝える)

- 1 職員に取組について説明する。
 - 4月当初の職員会議で「教育相談共通理解事項及びまごころプラン(案)」を配布し協力を願う。【資料1】
 - 1回目の「まごころコール」は4月中に行う。
それ以降は、行事の前後、欠席した日の体調確認等の機会を利用する。
 - 保護者に電話内容を素直に喜んでもらったり、元々思いやりのある生徒が、「まごころコールのためにしている」という批判の対象になるのを避けたりするため、「まごころコールをします」のような周知は保護者や生徒に行わない。
- 2 生徒の情報収集を行う。
 - 担任以外の職員が生徒に関する情報を担任に伝える手段として「まごころコール情報カード」を利用する。
 - 直接、担任に伝えることができる場合はカードを利用しなくてもよい。

多くが連絡で終わる電話連絡と異なり、まごころコールは子供の良い面に関する内容を必ず含む
校長、教頭、主幹教諭、各学年教育相談担当者、養護教諭、さわやか相談員の計8名で組織する「教育相談部会」で検討
まごころプラン(案)は、前年度の生徒及び職員アンケート結果を参考に作成

その月や学期で生徒の顕著な取組を取り上げる機運作りが大切

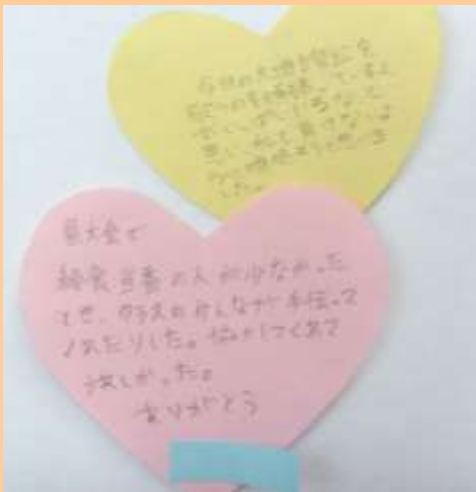
- 3 担任は電話連絡後、「まごころコール情報カード」にコール日を記入して教育相談担当に渡す。
- 4 教育相談担当は渡されたカードを保存用ノートに貼る。

毎月、第4週目の実施可能な日に行う

● 「まごころの花束」(周りで見かけた良い行い等を書いて提出)

- 1 職員に取組について説明する。
 - ・ 4月当初の職員会議で「教育相談共通理解事項及びまごころプラン(案)」を配布し協力を願う。【資料1】
 - ・ カードは各学年の教育相談担当が学期毎に交替して作成する。
 - ・ 職員に配布する日報で実施日の前日に連絡する。
- 2 当日は、担任が朝の会で「今日はまごころの花束記入日」であることと、「今日一日、思いやりのある行いや言葉を意識して過ごす」ように伝える。
- 3 帰りの会で、生徒は、その月、あるいはその日一日の自分の周りで見かけた良い行いや相手にしてもらって嬉しかった行い・言葉をハート型の紙に書いて担任に提出する。
- 4 担任はカードに目を通し、ねらいと外れたものについては個別に生徒に声をかけて書き直させる、あるいは、次回はねらいに即したものを書くことができるように支援する。
- 5 教育相談担当がカードを廊下に設けた掲示板に貼る。
 - ・ 美術部生徒の協力で台紙を作成してもらう。
 - ・ 学年の掲示係が掲示を担当し、学期に1回貼りかえる。

「～を拾ってくれた」「貸してくれた」ではなく、何かの活動を通して良いと思ったり、嬉しかったりしたことを記入させる



《学校生活アンケートの実施》【資料2】

- ・ 「まごころの花束」と同じ日に、学校生活アンケートも実施し、生徒の悩みや問題等の早期発見・早期解決の手がかりとする。
- ・ 生徒の回答によっては、その日のうちに生徒と担任、または、生徒が希望する担当者（他の職員やさわやか相談員）で二者面談を実施する。
- ・ アンケート結果の集計用紙を各学年教育相談担当に提出し、教育相談担当がパソコンに入力後、教育相談部会で結果を配布し、教育相談ファイルを各学年で回覧する。

● 「まごころ通信」の作成【資料3】

- 1 各学年の教育相談担当が、学期末に学年のカードの中から各学年15枚程度をパソコンに入力する。
- 2 通信を教育相談主任が印刷し全職員と全校生徒に配布する。

個人名はアルファベットに変える。

成果や効果

- ◎ 4月中に第1回「まごころコール」を全家庭に行ったが、保護者の不安を解消し、心的距離を縮めることができた。担任としても、電話をしていなかったときより、初めて会ったときに気軽に話すことができた。
- ◎ 「まごころの花束」については、平成24年度末の生徒対象のアンケートで、約9割の生徒が継続を望んでいることが分かった。
その理由として、
 - ・ 友だちの良いところを発見できる。
 - ・ 自分はこんな風に思われているんだと思える。
 - ・ いつもは恥ずかしくて直接言えないことを文字にして伝えられる。
 - ・ 自分がしてもらったことなどを振り返り、廊下に貼ることでみんなが見て話題になる。
 - ・ 自分もこんな行動がしたいと思うことがあるから。等の回答があった。
また、友達から「うれしかった」や「ありがとう」のメッセージをもらったときは、
 - ・ 小さなことだったので覚えていて書いてくれたことにうれしく思った。
 - ・ 温かい気持ちになった。
 - ・ もっと親切にしようと思った。
 - ・ もっと人の役に立ちたいと思った。等の回答もあった。
- ◎ 同アンケートで、学校からの電話で保護者からほめられた生徒が全校平均3割いた。特に、ほめられた生徒の割合が高い学年やクラスでは、電話の際に生徒の良い面を伝えるだけでなく、保護者からも声かけをしてもらうよう担任が保護者に依頼していた。
- ◎ 周囲の良い行いを意識しカードで言語化したことで、生徒は「自分もそういう人になりたい」という目標となるモデルを得ることができた。
- ◎ 生徒の中には、家族や教員の物事への取組姿勢をカードに書く生徒も出てきて生徒の視野が広がったことがうかがわれる。
- ◎ 廊下に張り出されたカードを通して自分のことを認めてもらったり、ほめてもらったりすることに生徒は喜びを感じ、「これからも続けたい」と今後の活動意欲にもつながる回答が少なくなかった。

実践事例を他校でも活用できる方策等

* 他校で導入する際のポイント

- ☆ 生徒の良い面を伝えるために、様々な電話連絡の機会を活用する。
- ☆ 保護者は学校での子供の様子を知らないことが多いので、行事に向けての取組の様子や頑張っていることを知らせる。併せて行事の日程等も伝える。
 - 保護者に行事を参観していただき、直接生徒の活動を見ていただくことが保護者から生徒がほめてもらう機会を増やすことにもつながる。
- ☆ 「まごころコール」は、担任だけでなく、部活動顧問、学年主任、委員会担当教員等、様々な教員が実施可能である。特に、担任が不在のときや多用のときは、学年内で他の職員が代わりに電話をする。

* 失敗しないための秘訣

- ☆ 生徒指導上の問題が起こる前に最初のみごころコールをすることが鍵になる。
- ☆ 最初の「まごころコール」は4月に実施する。
- ☆ 電話をすることが目的にならないようにする。
- ☆ 保護者によっては、伝える内容が大したことではないと思われることがあるので、内容は精選する。特に保護者が喜んだ内容として、「弱い立場の生徒や学校を休みがちな生徒に対する支援」、「行事での献身的な取組」がある。
- ☆ 電話をかける時間は食事時を避ける。
- ☆ 「まごころの花束カード」を記入させるときは、文例を提示する。ただし、「～を捨ててくれた/貸してくれた」を全否定しない。
- ☆ カードには掲示前に必ず目を通し、ふざけた内容のものは個別に指導する。
- ☆ カードの掲示場所は目につきやすい場所を選ぶ。
 - 生徒によっては、カードのみが掲示されている場所では、周りの目を気にして落ち着いて読むことができない。他の掲示物をわざと貼っておく等の配慮で読みやすくなる。

* こうすればより高い効果が得られるという方策

- ☆ 部活動顧問と担任の連携
- ☆ 生徒会本部との連携、あるいは、「まごころ隊」など、有志の生徒で組織を編成
- ☆ まごころコール後の保護者から生徒への一言があると良い。
 - (「学校で～したんだってね。がんばったね。」「良いことをしたね。」等)
- ☆ まごころの花束カードを読んだ教員から生徒への一言があると良い。
 - (「～を教えてくれたんだね。有難う」「よく見ているんだね」等)

外部有識者の評価

- 良い点を認めてほめるという着眼点が良い実践である。
- 生徒の良さを学習活動に生かすことによる指導力の向上といった成果の分析がなされるとさらに良い。
- 肯定的な題材をもとに保護者と接点を持つ取組は良いことである。
- 必要以上に褒めることは負の効果をもたらすことがある。どのような行いを褒めるのか共通認識を持つなど、取組の質を高める必要があるかもしれない。

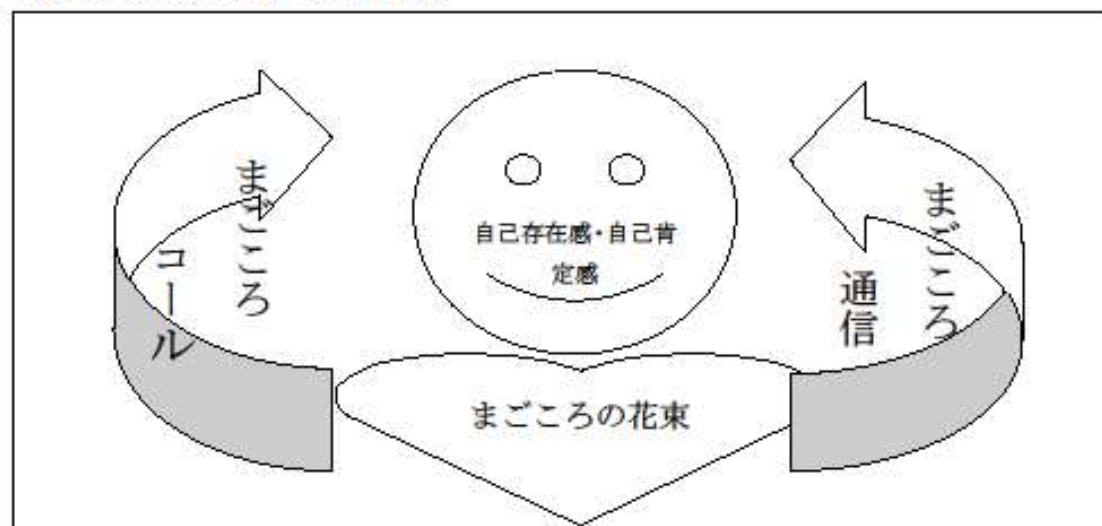
平成26年度 加須東中教育相談部

「まごころプラン」

1 ねらい

- (1) 生徒のよい行いを積極的に取り上げ、生徒の自己存在感・自己肯定感を育む。
- (2) 保護者への電話連絡やまごころ通信での発信等を通して「まごころプラン」を推進し、学校と保護者との信頼関係を築き生徒の健やかな成長を支援する。

2 「まごころプラン」3つの取り組み



1) 「まごころコール」

◇4月スタートが鍵!!

- ・保護者は担任のことをよく知らず不安を抱いていることが少なくない。
 - ・保護者の不安解消に向けて、まずは4月最初の電話連絡を行う。
 - ・生徒のマイナス面が目についてくる前の電話が鍵である。
- 4月新学期第1週中に担任は電話で各家庭に挨拶することを通して、保護者との心的距離を縮める。

◇学校からの電話＝子どもが良いことをした

- ・保護者は「学校からの電話＝子どもが何か悪さをした」と思い込んでいる。
- ・生徒の良い面を積極的に保護者に伝えていくことで、実際にマイナス行為で連絡することがあっても連携しやすい関係を築いておく。
- ・行事に向けて生徒が頑張っている様子やその成果を見に来てもらうよう家庭に連絡する。
- ・生徒のよい面を伝えるために全ての家庭に1年を通して複数回電話する。

*その他、プラス面を伝える機会として

- ・保健室からの報告を受けての連絡や欠席した日の連絡時に
- ・デイリーライフに（保護者に読んだらサインをしてもらう）
- ・行事で保護者に直接会う時に

○まごころコール情報カードの活用

生徒に関する情報は(特に電話していない家庭の)、職員全員で情報収集を担当する。

*まごころコール情報カード

まごころコール情報カード	
日時	月 日() 頃
クラス	年 組
名前	
まごころ コール 情報	(ぶり)
まごころ コール日	月 日() 頃

- ①よい行いを発見した職員はまごころコール情報カードに記入後、各担任の机上(あるいは手渡し)に置く。
- ②担任は電話連絡後にコール日を記入して教育相談担当に戻す。
- ③教育相談担当は戻ってきたカードをノートに貼って保管する。
- ④その他のコール日については、各学年教育相談担当がノートに添付した学年名簿に担任からの報告を受けて記入する。

*まごころコールをした日を記入し、教育相談担当へ戻してください。

2) 「まごころの花束」～学年で共有～

- ①毎月末の朝の会で、今日がまごころの花束記入日であることを連絡してその月(あるいはその日)に自分の周りで見かけたよい行いや嬉しかった行いや言葉をハート型の紙に書かせて集める。この時、「～を拾ってくれた」「貸してくれた」ではなく、何かの活動を通して良い行いだと思ったり、嬉しかったりしたことを記入させる。
- ②集めた紙は、各学年の教育相談担当が廊下にコーナーを作り学年の掲示係に掲示させる。
掲示用模造紙は美術部が担当する。
- ③学期に1回貼りかえる。

○学校生活アンケートの活用

・「まごころの花束」記入日にアンケートを実施し、生徒の悩みや問題等の早期発見・早期解決の手がかりとする。

- ①アンケートを全校生徒に配布し回答させる。
- ②担任はアンケート用紙を見て、生徒の回答によっては直ちに二者相談を実施する。
- ③担任はアンケートをクラス集計した後、各学年教育相談担当に集計用紙を提出する。
- ④各学年教育相談担当は、パソコンに集計結果を入力し、次回の教育相談部会で部員に配布、教育相談ファイル閲覧の折に全職員で把握に努める。

3) 「まごころ通信」～全校で共有～

○廊下に掲示したものをB4判通信として全校分をまとめて学期に1回発行し、全校生徒や保護者に学校の活動を広報する。

*通信には「まごころの花束」から特に取り上げたい行いを各学年から15枚前後選んで載せる。この時、個人名はアルファベットに変える。

「まごころの花束」カードの取り組みについて

～学級指導～

○朝の会にて……

加須東中では、みんなの「まごころ」のこもった行いや言葉を沢山見つけて、学年や全校で共有しています。題して「まごころプラン」。学校にあたたかな風を吹かせていきましょう。

取組の一つとして、月1回、「まごころの花束」カード記入日を設けています。1カ月を振り返って、または、その日1日、「まごころ」のこもった行いや言葉を意識して過ごしてみてください。それは、自分で心掛けることももちろんですが、自分の身の周りの人たちの「まごころ」のこもった行いや言葉にも注目してみてください。

○帰りの会にて……

「まごころ」を意識した生活ができましたか。これからカードを配ります。あなたに向けられた「まごころ」のこもった行いや言葉、または、身の周りで見かけた「まごころ」のこもった行いや言葉を教えて下さい。カードは廊下に「まごころの花束」として掲示していきます。心をこめて書いてください。また、毎日の学校生活についても振り返り、アンケートの□に数字や記号を正直に記入してください。みんなが気持ちよく生活できるように先生たちは見守っていきたいと思います。

○学級・学年での活用……

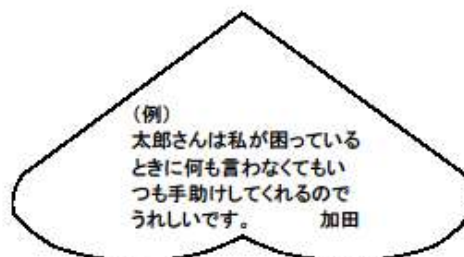
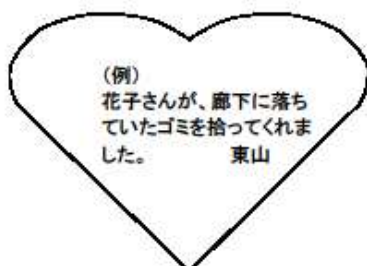
「まごころの花束」カードは回収し内容を確認後、学年の掲示係に手伝ってもらい掲示して下さい。

○学校生活の振り返りアンケートは……

生徒の回答を読んで、いじめや悩み等の回答によって即対応・面談をお願いします。用紙での集計は担任の先生をお願いします。その後、各学年教育相談担当に提出をお願いします。学年の教育相談担当がパソコンに入力します。学年集計後は、教育相談部会で集計結果を提出します。

まごころの花束カード

○あなたが自分の周りで見かけた「まごころ」のこもった行いや言葉、または、自分が嬉しかった「まごころ」のこもった行いや言葉を配布されたハート形の花弁の中に入れてください。



1か月の学校生活を振り返ってみましょう

【4月】

※このアンケートの内容は秘密にしますので、正直に教えてください。

1. ここの1か月の学校生活は楽しいですか？

- ①楽しい ②どちらかと言うと楽しい ③どちらかと言うとつまらない ④つまらない

2. ここの1か月の内に、あなたの周りでいじめられている人はいますか？

- ①いる ②わからない ③いない

3. ここの1か月の内に学校でいじめられたことがありますか？

- ①ある ②わからない ③ない

4. 現在、困っていることや悩みはありますか？(①の理由は複数回答可)

- ①ある(理由:A進路 B友だち C勉強 D部活 E異性 Fその他) ②ない→5は答えない

①or② 理由

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

5. 4で「困っていることや悩みがある」と回答した人は、相談できる人がいますか？

- ①友だち ②親 ③兄弟・姉妹 ④先生 ⑤相談員さん ⑥異性 ⑦その他 ⑧いない

* 相談を希望する人で、相談をしたい先生がいる人は番号に丸を付けて下さい。(いくつでも可)

- ①担任の先生 ②()先生 ③相談員さん ④スクールカウンセラー(月1回来校)

年 組 番

【資料3】まごころ通信

○ 平成25年3月26日号

平成24年度3学期

加須東中まごころ通信

平成25年3月26日(火)

加須東中学校教育相談部

本校は、今年度生徒のよい面に注目し積極的に取り上げることで、生徒の自己存在感や自己肯定感を育てていくことを目指す「加須東中まごころプラン」に取り組んできました。

プランの取り組みの1つとして、毎月末1回「まごころの花束カード記入日」を設けて「まごころ」のこもった行いや言葉を見つけ学級、学年や全校で共有しました。

学期に一度発行してきた「加須東中まごころ通信」は今年度最後となりました。3月の「まごころの花束カード」から一部をご紹介します。

各学年の「まごころの花束カード」より



1年生

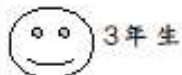
- この前の卒業式のための掃除の時、みんな一生懸命に働いていてとてもいいなと思った。
- この1年、いろいろなことがあったけれど、クラスみんなが協力してできたことがたくさんあったので“協力”と“思いやり”は改めて大切だと感じた。
- 強風で倒れていた自転車たちを立てさせてくれていた人、君たちの優しさは世界を救うツ!!そしてこの1年間お世話になったみなさん、ありがとー!!
- ブラジルの方に漢字の問題をつくる活動で、終わった班の子が私たちの班の手伝いをしてくれてありがたいな～と思いました。
- ベランダで乾かしていた牛乳パックが風で飛んだとき、取りに行った人がいた。とっても優しいなと思った。
- 地理や理科のノートのコピーをいただいた。
- Aさんが「一緒に帰ろう」と言ってくれたので、いい人だなと思った。
- 周りのみんなが温かく接してくれた。クラスみんな、ありがどう。
- 鼻をかみたかったときティッシュがなくて困っていたら、Bさんがティッシュをくれたのでうれしかったです。
- 部活で部長がみんなをがんばってまとめていた。
- Fさんがバドミントンのコツを教えてくださいました。



2年生

- みんな親切ありがどう。
- Aさんに理科を教えてもらった! Thank you.
- 日差しが強いときにBさんがカーテンを閉めてくれた。
- ばあちゃんが洗濯や掃除をしてくれました。
- クラスみんなが優しくしてくれた。
- CさんとDさんが絵をほめてくれた。
- EさんとFさんが相談にのってくれた。とても助かった。
- 移動教室に移動するとき、Gさんが待っていてくれた。Gさん、ありがどう。
- Hさんが勉強を教えてくださいました。

- 三送会で生徒会の人たちがとてもよく頑張っていた。
- 体育の時間にチームの人たちと楽しく協力し合って頑張ることができた。ありがとう。
- さんがいっぱい場を盛り上げようとしてくれた。



3年生

- Aさんが教科書を貸してくれた。
- クラスみんなが、入試直前に「がんばれ」って言ってくれた。
- クラスみんなが、合格したとき「おめでとう」って言ってくれた。
- Bさんが、わからない問題を教えてくれた。
- 私がいなくて、友達が係の仕事を手伝ってくれた。
- Cさんが私に笑顔をくれた。
- Dさんが掃除を手伝ってくれた。
- みんなが受験近くでもいつもと変わらない様子でいてくれた。
- 委員会の仕事を手伝ってくれた。
- Eさんがおもしろくてクラスが明るくなった。

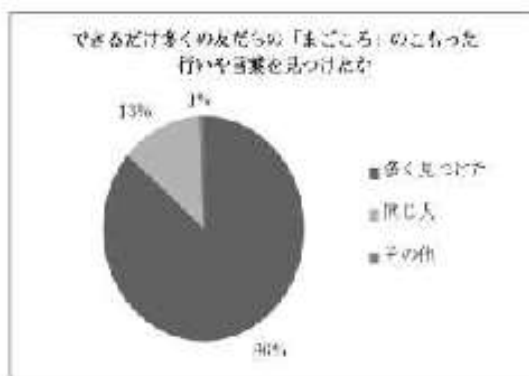
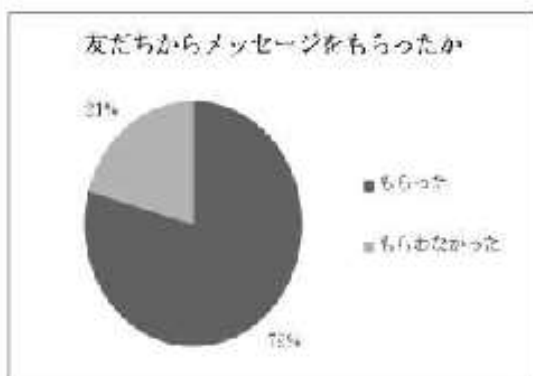
☆「まごころの花束」記入日についてのアンケート結果報告

(有効回答数:1年78名、2年73名、3年84名、計235名)

先日、全校で「まごころの花束」についてアンケート調査を実施しました。その結果、「まごころの花束」カード記入日が続けた方がいいという生徒の意見が約九割でした。その理由として、「友だちの良いところを発見できる」「自分はこんな風に思われているんだと思える」「いつもは恥ずかしくて直接言えないことを字にして伝えられる」「自分がしてもらったことなどを振り返り、廊下に貼ることでみんなが見て話題になる」「自分もこんな行動がしたいと思うことがあるから」等がありました。

友だちから「うれしかった」や「ありがとう」のメッセージをもらったときは、「小さなことだったので覚えていて書いてくれたことにうれしく思った」「温かい気持ちになった」「もっと親切にしようと思った」「もっと人の役に立ちたいと思った」等の回答がありました。

このような結果から、この活動が生徒たちに自己存在感や自己肯定感を少なからず育んでいると考えられます。改善点や生徒側から出た「学校にあたたかな風を吹かせる取組」をいかして、来年度も全校で「まごころ」のこもったよい言葉や行いを見つけて共有していきたいと思います。



*「もらわなかった」と回答した理由として名前が無記名の「まごころの花束」も多かったことがあげられます。

平成26年1学期

加須東中まごころ通信

平成26年7月18日(金) 加須東中学校教育相談部

本校で「加須東中まごころプラン」に取り組んで3年目を迎えました。これは、生徒のよい面に注目し積極的に取り上げることで、生徒の自己存在感や自己肯定感を育んでいくことを目的としています。

プラン取り組みの1つとして、毎月末1回「まごころの花束カード記入日」を設けています。「まごころ」のこもった行いや言葉を沢山見つけて、学級、学年や全校で共有します。

また、学期に一度「加須東中まごころ通信」を発行し、保護者の皆様にもその一部をご紹介します。全校生徒の「まごころの花束」は、各学年廊下に掲示してありますので、学校にお越しの際にご覧ください。「まごころの花束カード」取組の流れは以下のようになっています。



2F オープンスペース(3年)

「まごころの花束」取組の流れ

- ①1カ月を振り返って、または、その日1日、「まごころ」のこもった行いや言葉を意識して過ごす。
- ②帰りの会で、自分の周りの人たちの「まごころ」のこもった行いや言葉を「まごころの花束カード」に記入して提出する。
- ③「まごころの花束カード」は、美術部の協力で用意した台紙に貼り、各学年廊下の掲示コーナーに掲示する。
- ④台紙は学期毎に貼りかえる。

*学校生活アンケートも同日実施し、生徒の悩みや問題等の早期発見・早期対応の手がかりとします。

各学年の「まごころの花束カード」より



1年生

- ・私が悩んでいるとき、Aさんが声をかけてくれました。
- ・BさんとCさんが悩みを聞いてくれました。
- ・Dさんが日直の仕事を手伝ってくれました。
- ・Eさんが僕の荷物を玄関まで持って行ってくれました。
- ・数学の時間にわからない問題をFさんとGさんが教えてくれました。
- ・社会教室そうじの女子が昼休みから掃除していて、すごいなと思いました。
- ・具合が悪くなったときに、先輩がジャージを貸してくれて、みんなが心配してくれた。
- ・Hさんが、教室に落ちていたゴミを拾っていました。



- ・Iさんが掃除の時間に、自分の担当でないところも掃除していました。
- ・Jさんがいろいろな教科の勉強を教えてくれた。
- ・先輩が絵についてアドバイスをしてくれてとてもうれしかったです。
- ・部活のとき、先輩がやさしくしてくれた。



2年生

- ・Aさんがとてもおもしろくて学校が楽しいです。
- ・Bさんが日直の人が忘れていた牛乳パックを洗っていました。
- ・掃除の時、手伝いに来てくれる人がいる。
- ・みんながいつもクラスをよくしようとしている。
- ・Cさんが、愚痴を聞いてくれたり、相談にのってくれるので助かる。
- ・Dさんが掃除を一生懸命やっている。
- ・EさんとFさんが私の悩みを聞いてくれた。
- ・G君が休んでいた分のノートを見せてくれて助かった。
- ・自分が調子悪いとき、友だちが心配してくれた。
- ・部員が1年生に対して優しく教えてくれた。
- ・友だちがいつも話しかけてくれてうれしい。
- ・勉強でわからないとき、友だちがいろいろ教えてくれる。



3年生

- ・けがをしているときにたくさんの人たちが気遣ってくれた。
- ・班のみんなが京都の行き先の案を早く出してくれてすぐ決まった。ありがとう。
- ・Aさんが私のささいな相談にのってくれました。ささいなことだったけど、のってくれて少し気が軽くなりました。
- ・Bちゃんが、いつもクラスのためにがんばってくれてすごいと思いました。
- ・Cさんが私が困っているときに何も言わないで手助けしてくれるのでうれしいです。
- ・私の誕生日にいろんな人が「おめでとう！！」って言ってくれて、めちゃ×2うれしかった♪みんなありがとう ♡♡♡ I love you.
- ・Dくんがゴミを拾って捨てていた。
- ・教室が最近きれいだ。みんな、掃除をよくやってくれている。ありがたい。
- ・Eさんが、牛乳の当番を忘れた時、やっておいてくれてとても助かった。でもなんだかちょっと悪い気がした。
- ・悩みを友人に相談したら気持ちが楽になった。
- ・生きていることに感謝。
- ・班のみんながいつも明るく楽しませてくれるので毎日が楽しい。
- ・修学旅行で困っているときにほかの班の人たちが助けてくれた。ありがとう。
- ・Fくんがいない人の当番をやっていた。
- ・Gちゃんと掃除をするとなんか妙にはかどります。いつもありがとう。



ある日の給食終了後の教室で、配膳台が汚れたまま放置されていました。(あれ、珍しいな。忘れるなんて。)と思いながら、担当生徒が近くにいるか確認しましたがいません。そんな時でした。別の男子生徒が床に落ちた残飯を拾い、配膳台をきれいに拭いてくれたのです。何も言わず、さっと行動に移した彼を見て大変感激しました。その後、珍しく忘れた生徒も「あ～、忘れた！！」と言って、代わりにやってくれた生徒に感謝していました。